

## 消防署からのお知らせ

### 住宅用火災警報器 本体交換の目安は10年

警報器内の電池寿命はおおむね10年です。  
設置後10年が経過したら、警報器本体または電池の交換をお勧めします。

#### 定期的な作動確認

点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり、定期的<sup>※1</sup>に作動確認をしましょう。



点検の結果：●火災警報以外の警報が鳴った  
●作動確認をしても警報器に反応がない

#### 古くなったら交換

このような場合は、本体の故障か電池切れです<sup>※2</sup>。  
警報器本体または電池を交換しましょう。



※1：警報器の作動確認は春秋の火災予防運動の時期に行うなど、定期的に実施してください。

※2：故障か電池切れか分からないときは、取扱説明書を確認するか、メーカーにお問い合わせください。

なお、電池切れと判明した警報器が設置から10年以上経過している場合は、本体内部の電子部品が劣化して火災を感知なくなることが考えられるため、本体の交換を推奨しています。

住宅用火災警報器に関するご質問は

- 一般社団法人 日本火災警報機工業会  
「住宅用火災警報器相談室」フリーダイヤル  
TEL：0120-565-911
- 大隅曾於地区消防組合 志布志消防署  
TEL：472-0119
- 大隅曾於地区消防組合 大崎分署  
TEL：476-0119



## 前へ



まち・地域・家族を、守るために、  
消防団が前進し続けるためにー。

消防団は地域にとつてなくてはならない存在ですが、消防団員は特別な存在ではありません。それぞれが仕事、家庭を持つ、多くの市民と同じ一般の人です。「自分たちのまちは、自分たちで守る」という尊いボランティアの精神で消防団員として活動しています。

今、火事が起きたら、消防団員が消火活動に駆けつけてくれます。しかし、それは使

命感で活動する消防団員だけが頼りで、少子高齢化が進む地域でいつまでも続く保障はありません。私たちがこれまで頼り、助けられてきた消防団が、これからも地域を守り、子どもたちを守るように、私たちにできることがあります。

## 消防団員募集中

市では、志布志市消防団員を募集しています。消防団であなただけの「まち・地域・家族」を守りませんか？

すぐに入団を決める必要はありません。お気軽にお問い合わせください。

■問い合わせ先：総務課消防防災係  
TEL：474-1111（内線215・216）

全国的な問題となっている少子高齢化は、本市にとっても大きな課題の一つです。高齢化が進む地域では、災害時に取り残されてしまう高齢者が多くなる傾向にあり、消防団に頼る部分が大きくなります。高齢者を含む、災害時に救助が必要な方をどのように守るか、地域防災の要である消防団への期待は高まっています。



消防団は、地域活動においても大きな役割を担っています。祭りや運動会といった地域の大きなイベントでは、普段の訓練で培われたチームワークを発揮します。地域活動を通して地域と交流する消防団



## 地域への貢献

地域に無くてはならない存在だけに、担い手の確保が課題に。

に地域は厚い信頼を寄せます。

消防団への期待が高まる一方で、少子高齢化による担い手不足も問題となっています。本市の消防団の定員495人に対し、平成29年2月1日現在での団員数は458にとどまり、定員充足率は92・5%となっています。

また、若手団員は減少傾向にあり、団員の平均年齢も高くなってきていることから、将来、消防団員が急に減少する可能性があります。

## 「家族の笑顔を守りたいから、消防団やっています」

稲付 伸幸さん（有明方面隊第二分団）  
一子さん（女性消防隊）

（伸幸さん）先輩の勧めで消防団に入りました。操法大会に初めて出る時の練習を通じて、先輩の皆さんとすぐに仲良くなれました。家族の笑顔を守りたくて入った消防団も、地域の方や団員同士の交流など、今では楽しみながらやっています。

（一子さん）夫の勧めで入った女性消防隊。始めは何をしていいかわからない手探り状態でしたが、研修などを受けて平成29年度からはいよいよ操法の訓練を始めます。女性消防隊で、他の地域の方と知り合えたり、子育ての相談をしたり、生活の幅が広がりました。



写真：夫婦で消防団活動をされる伸幸さんと一子さん。小学校3年生の伸乃助君は活動服、制服姿のお父さん、お母さんを「カッコいい」と言います。1年生の菜々子ちゃんは、お母さんの制帽姿が好きで、自分でもかぶって学校に行きたいそうです。